

2009年の回顧と2010年の展望

(1)2009年の回顧

- ①上期は暴風雨、下期は晴れ、通期では曇り
- ②前年比では減収減益なるも、利益を確保

(2)2010年の展望

- ①今年はワールドカップ、大統領選挙の年でもあることから、内需の拡大を背景に、好調に推移すると予想

1. 原綿

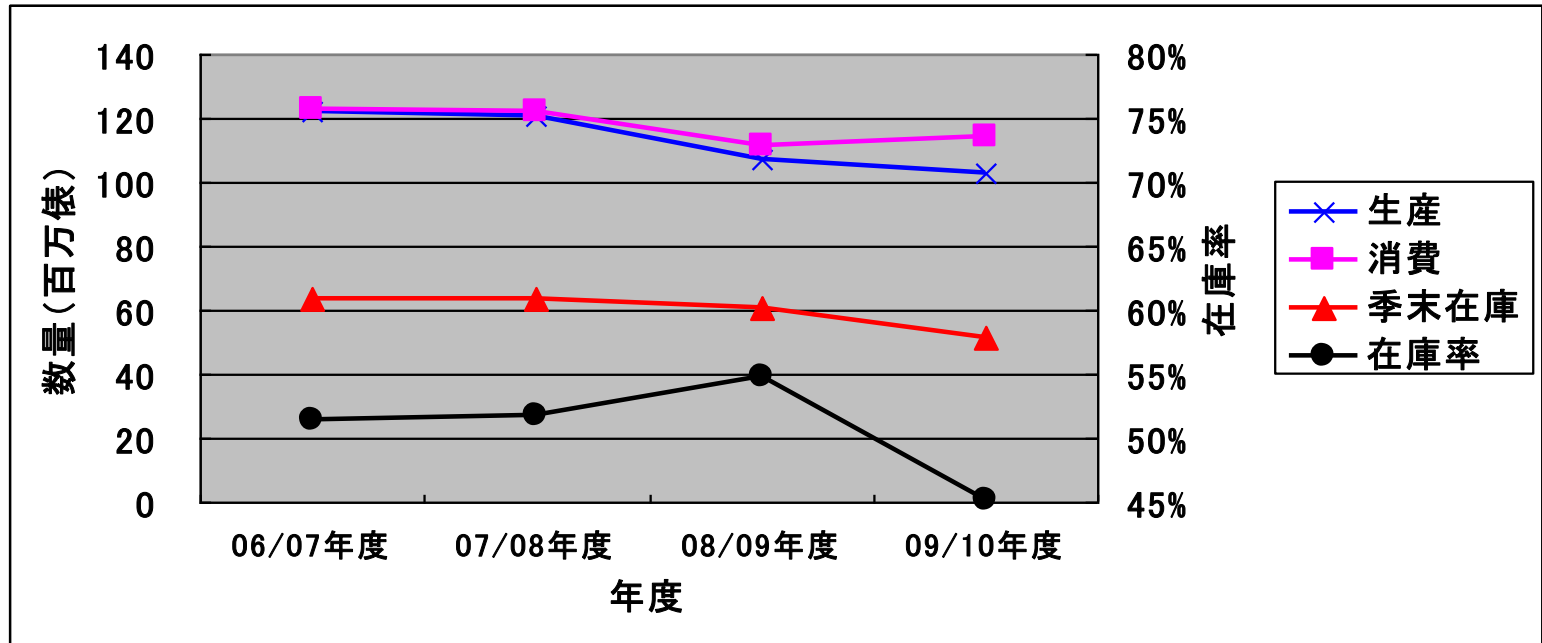
1-1. 国際原綿

1) 世界綿花需給実績と予想(2010年1月10日米農務省発表)

2008/09年度は生産・消費とも減少し、在庫率 54.8%。量的に問題なかった。

2009/10年度の生産は3年連続減少予想でタイト感。

在庫は2003/04年以来の低水準で、在庫率 45.2%。



単位: 百万俵 (480LB俵)

項目	06/07年度	07/08年度	08/09年度	09/10年度
生産	122.0	120.5	107.5	102.7
消費	123.0	122.3	111.1	114.4
季末在庫	63.3	63.3	60.9	51.7
在庫率	51.5%	51.8%	54.8%	45.2%

綿年度: 8月～翌年7月

中国が約 3割の生産
中国が約 4割の消費

1. 原綿

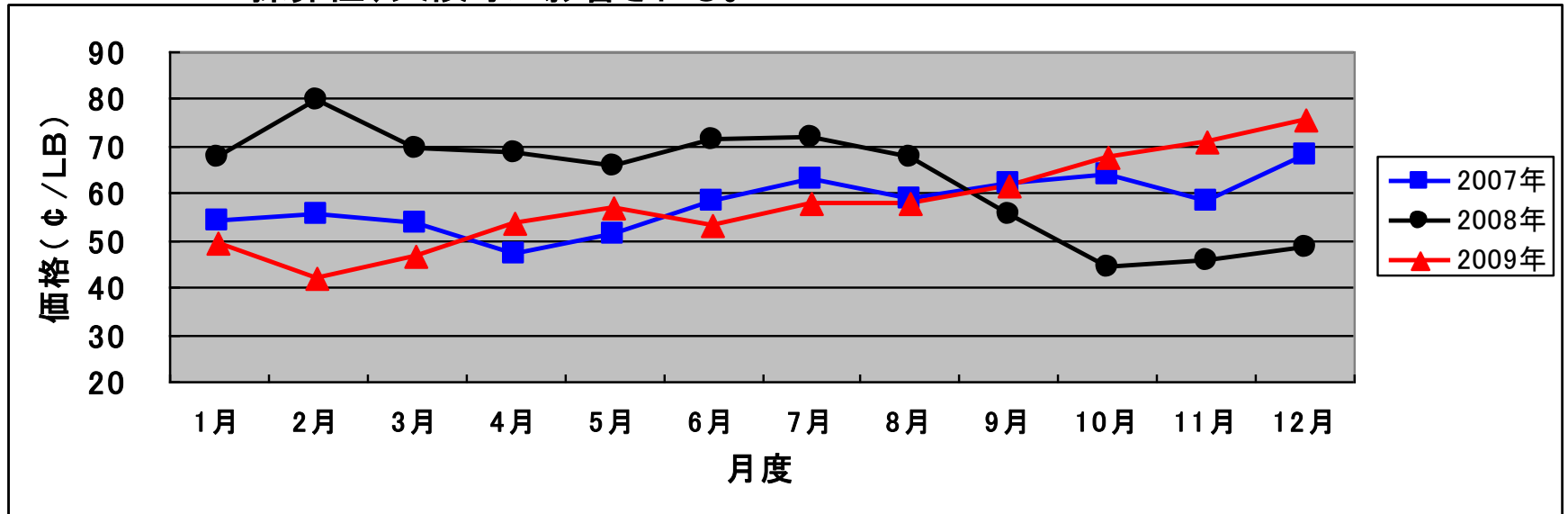
1-1. 国際原綿

2) 綿花相場(NY定期、月末終値)

2009年は、年初 40 ¢ /LB台の相場が、供給不足予想等の要因により徐々に値を上げ、70 ¢ 台となった。

2010年は、60 ¢ /LB半ばから 80 ¢ /LB後半の値動きか？

今後の世界経済の動向、ファンド筋の投機動向、紡績段階以降の採算性、天候等に影響される。



単位: ¢ /LB

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
2007年	54.0	55.6	53.6	47.3	51.1	58.5	63.0	58.9	62.1	64.1	58.2	68.0	57.8
2008年	67.8	79.7	69.3	68.7	65.7	71.4	71.7	67.5	55.5	44.3	45.8	48.4	63.0
2009年	49.4	42.1	46.5	53.5	57.0	53.3	57.9	57.8	61.3	67.6	70.8	75.6	57.7

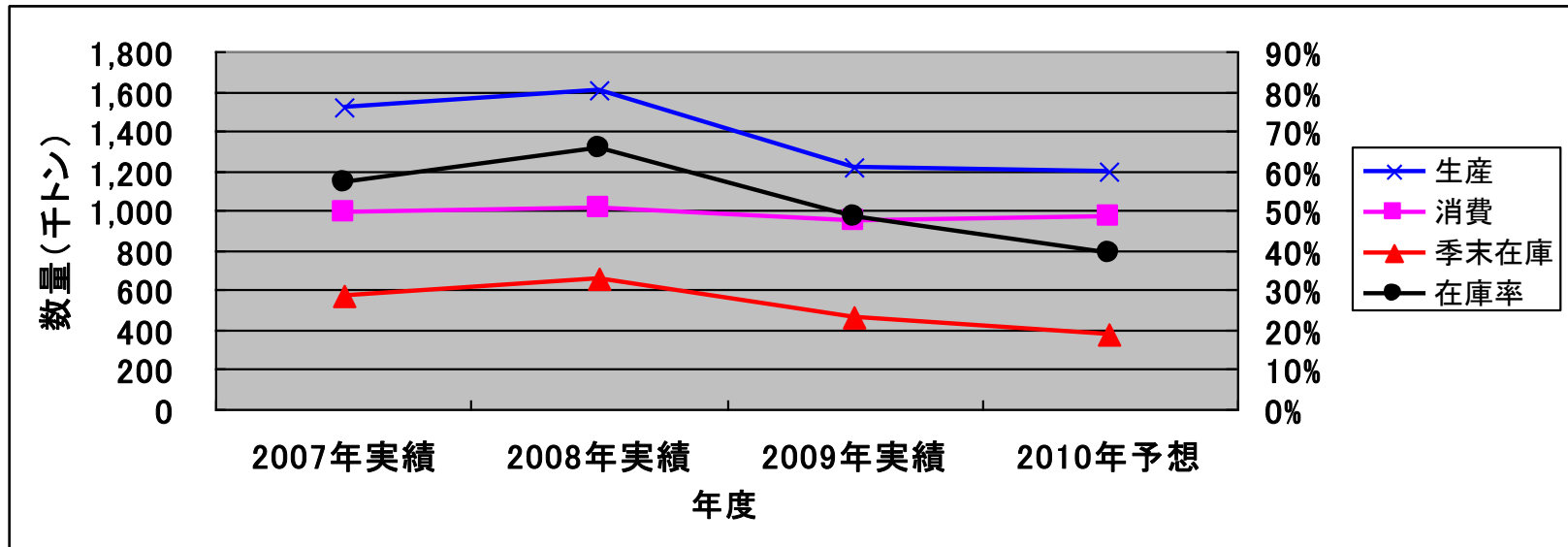
1. 原綿

1-2. 国内原綿

1) 国内綿花需給実績と予想(2010年1月CONAB発表)

2009年は、前年比、作付面積21.8%減、生産量25.5%減の121万トンで、大幅な季末在庫減。

2010年は、昨年並の作付面積で生産量も120万トンの予想。加えて、消費増が見込まれタイト感。季末在庫は更に減少し、39.2%の予想。



項目	2007年実績	2008年実績	2009年実績	2010年予想
生産	1,524	1,602	1,213	1,198
輸入	96	33	15	50
消費	990	1,009	948	970
輸出	419	532	480	360
季末在庫	567	661	461	380
在庫率	57.3%	65.5%	48.6%	39.2%

単位:千トン

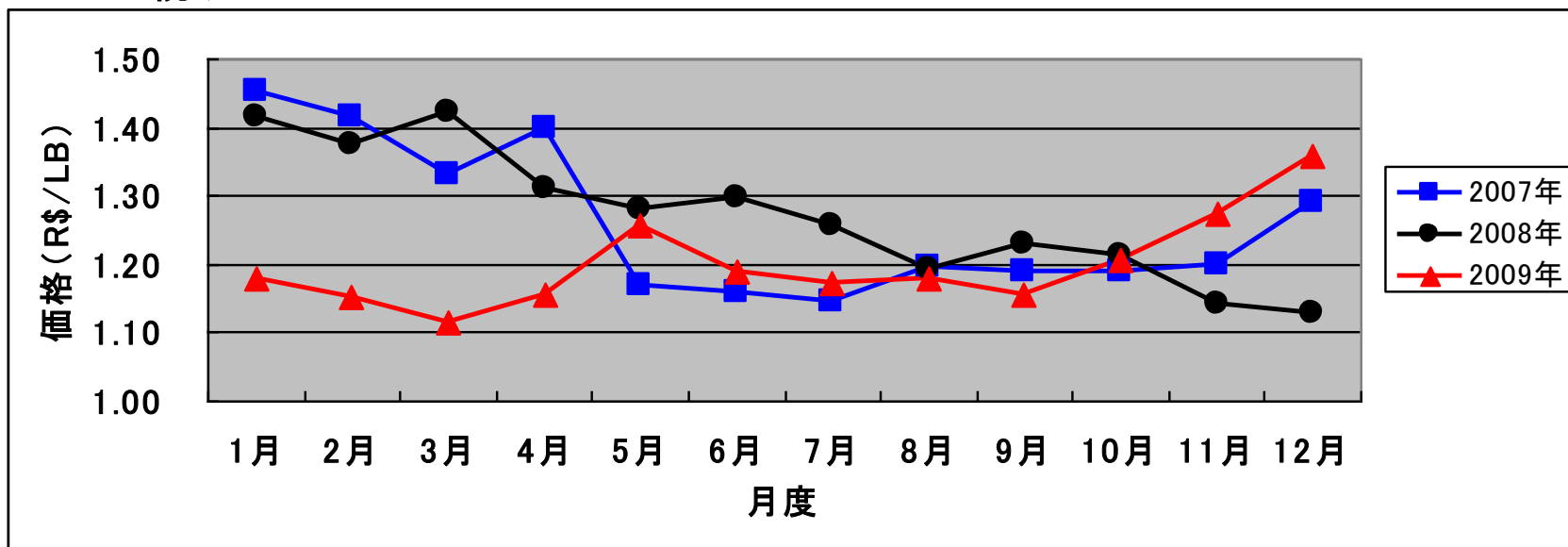
1. 原綿

1-2. 国内原綿

2) 綿花相場(ESALQ、月末価格)

2009年：相場は年初来R\$1.20/LB前後であったが、9月頃から国内消費の回復、良質綿花不足、来年の綿花のタイト感予想によって上昇に転じ、年末には 1.36/LBまで暴騰。

2010年：相場は上昇を続け、現在R\$1.44/LB前後で推移。紡績はフル生産であるし、綿花高が続くか？



単位：R\$/LB

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
2007年	1.45	1.42	1.33	1.40	1.17	1.16	1.15	1.19	1.19	1.19	1.20	1.29	1.26
2008年	1.42	1.38	1.42	1.31	1.28	1.30	1.26	1.19	1.23	1.21	1.14	1.13	1.27
2009年	1.18	1.15	1.12	1.16	1.26	1.19	1.17	1.18	1.16	1.21	1.27	1.36	1.20

2. 綿糸

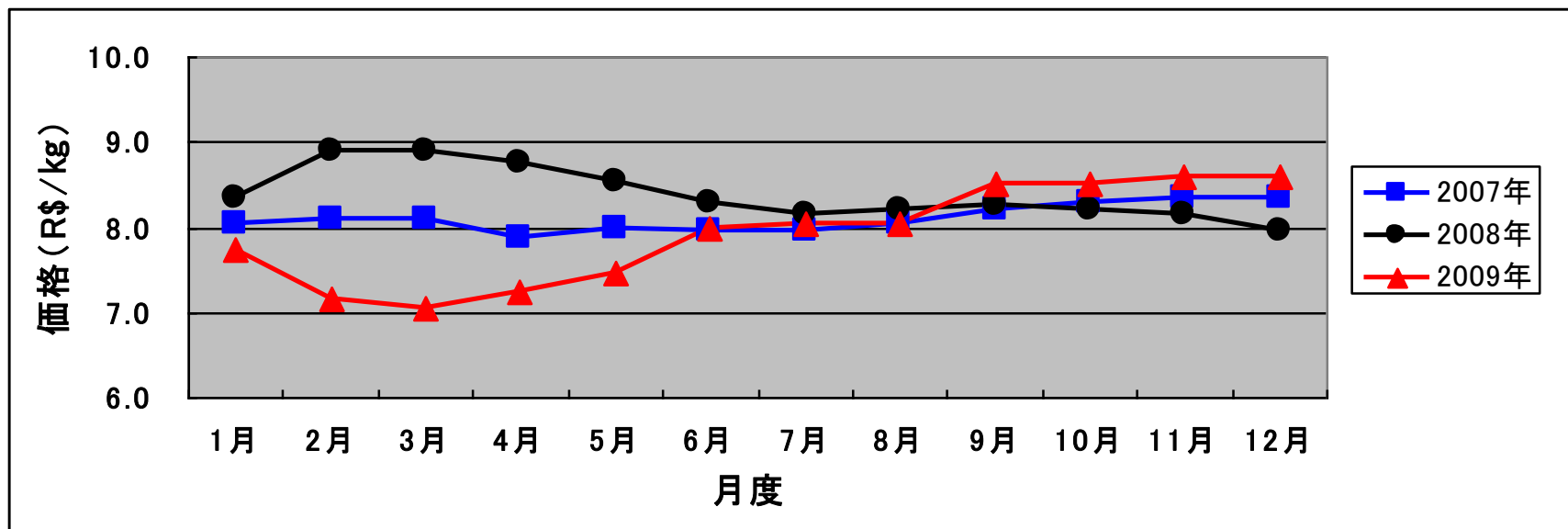
2-1. 国内綿糸

綿糸価格

2009年：上期は消費低迷により紡績は在庫増、生産調整も実施。相場はここ数年で最も下落。
 下期に入り、国内消費が急回復、在庫減少、相場も上昇。

2010年：衣料品需要が伸び、輸入綿糸拡大の懸念は小さく、綿花高でもあるし、綿糸相場は
 上昇が予想される

コーマ30s価格



単位：R\$/kg (A Vistaベース、ICMS等込み)

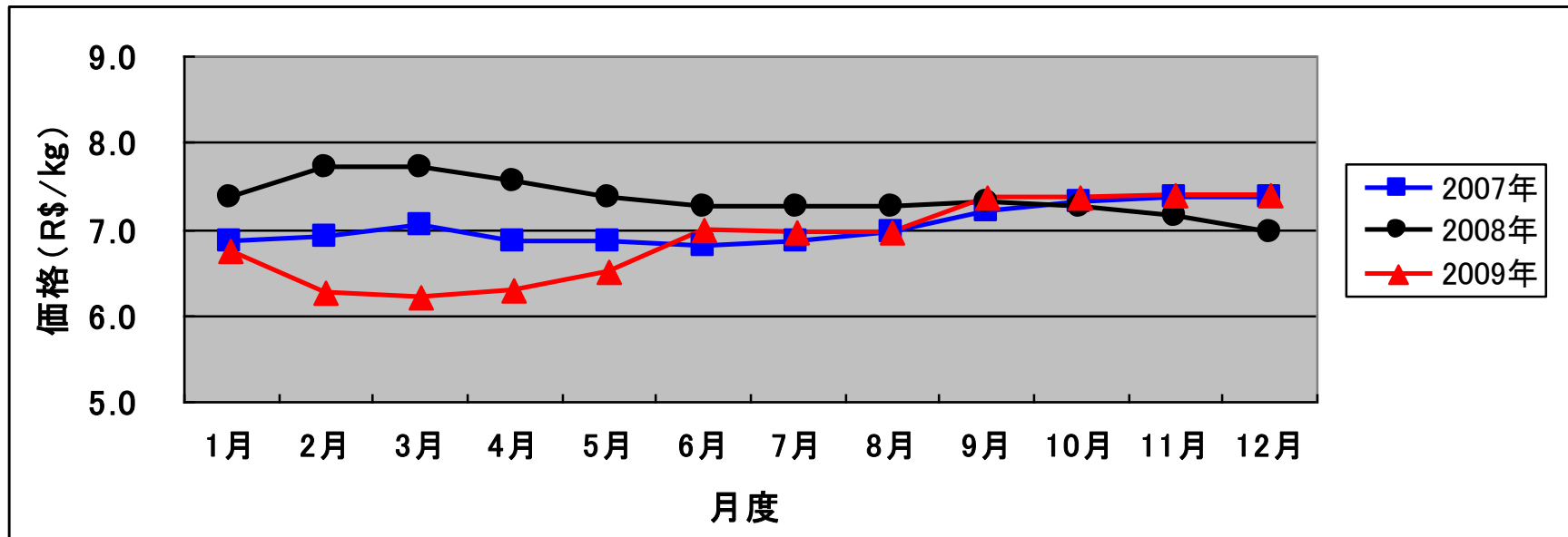
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
2007年	8.1	8.1	8.1	7.9	8.0	8.0	8.0	8.1	8.2	8.3	8.4	8.4	8.1
2008年	8.4	8.9	8.9	8.8	8.6	8.3	8.2	8.2	8.3	8.2	8.2	8.0	8.4
2009年	7.8	7.2	7.1	7.3	7.5	8.0	8.1	8.1	8.5	8.5	8.6	8.6	7.9

2. 綿糸

2-1. 国内綿糸

綿糸価格

カード30s価格



単位：R\$/kg(A Vistaベース、ICMS等込み)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
2007年	6.9	6.9	7.1	6.9	6.9	6.8	6.9	7.0	7.2	7.3	7.4	7.4	7.0
2008年	7.4	7.7	7.7	7.6	7.4	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.2	7.0	7.3
2009年	6.8	6.3	6.2	6.3	6.5	7.0	7.0	7.0	7.4	7.4	7.4	7.4	6.9

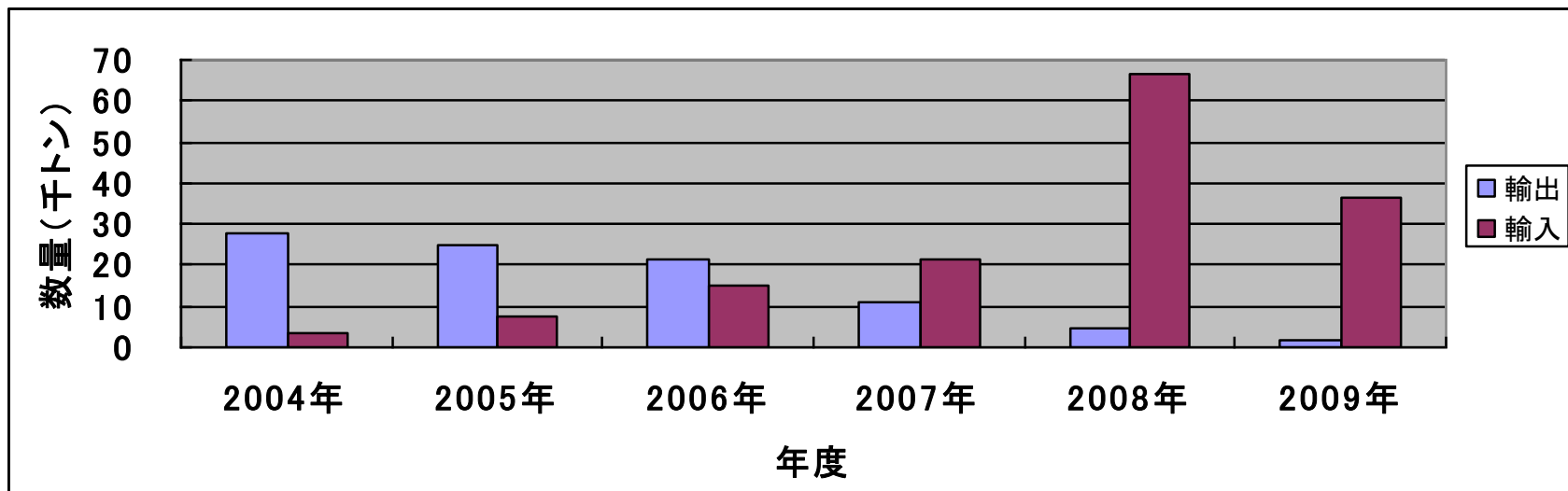
2. 綿糸

2-2. 綿糸貿易

1) 綿糸輸出入実績(数量)

2009年:対前年同期比、輸出入とも大幅に減少(輸出62.4%減、輸入45.6%減)。
輸出はアルゼンチンの輸入規制のため。輸入は国内市場の低迷とレアル安のため減。

2010年:輸出は安価なインド綿糸に近隣諸国市場を押さえられ、当面復活する見込みはない。
輸入は、2010年1月以降の関税引上げ(14%→18%)、世界需要回復による需給タイト化、
為替(R\$1.75/US\$程度ならば)によって、2009年並みに止まる。



年度	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
輸出	27.8	25.0	21.4	11.0	4.4	1.7
輸入	3.7	7.7	15.0	21.4	66.8	36.3
為替レート※	2.9	2.4	2.2	1.9	1.8	2.0

単位:千トン

※期中対ドル(R\$/US\$)

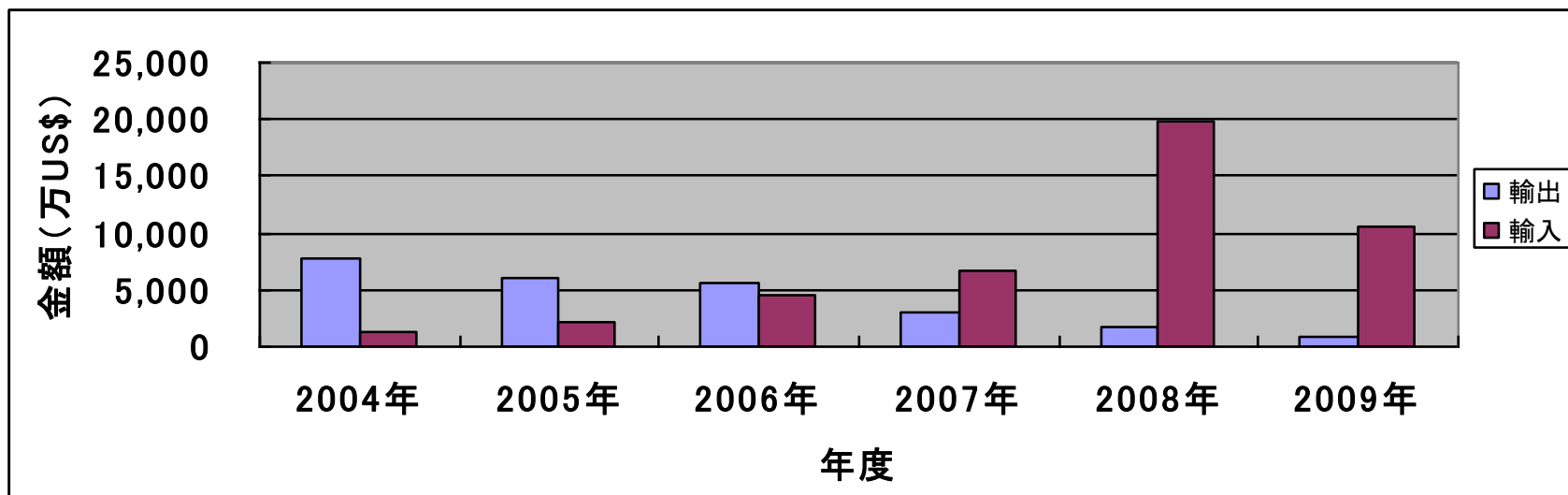
2. 綿糸

2-2. 綿糸貿易

2) 綿糸輸出入実績(金額)

2009年:対前年同期比、輸出入とも大幅に減少(輸出53.9%減、輸入47.0%減)。

2010年:輸出は更に減少か、輸入は2009年並みか微増



年度	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
輸出	7,687	6,067	5,612	3,020	1,666	767
輸入	1,247	2,168	4,486	6,658	19,932	10,566
為替レート※	2.9	2.4	2.2	1.9	1.8	2.0

単位:万US\$

※期中対ドル(R\$/US\$)

3. 織物

3-1. 薄地織物

1) 国内生産・販売

2009年:2008年末からの在庫増加、上半期の内需減退により、織物の国内生産・販売も減少。

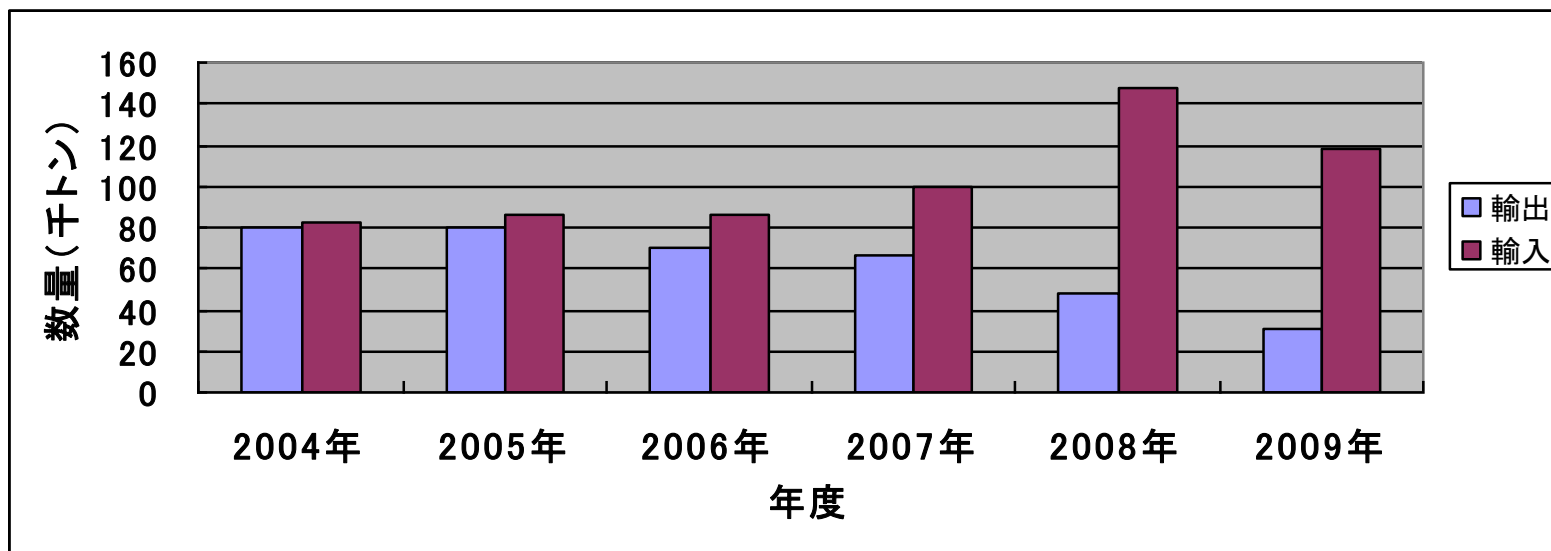
2010年:内需拡大が予想される中、国内生産増。

ユニフォーム用途は回復。一般衣料は生地・製品ベースでの輸入品との競争が激化。

2) 輸出入実績(数量)

2009年:対前年同期比、上半期の内外の需要減退により、輸出・輸入とも減少。

2010年:内需拡大が予想される中、輸出漸減・輸入増



	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
輸出	79.4	79.6	70.3	66.9	48.1	30.2
輸入	82.0	86.3	86.5	99.9	147.4	117.8

単位:千トン

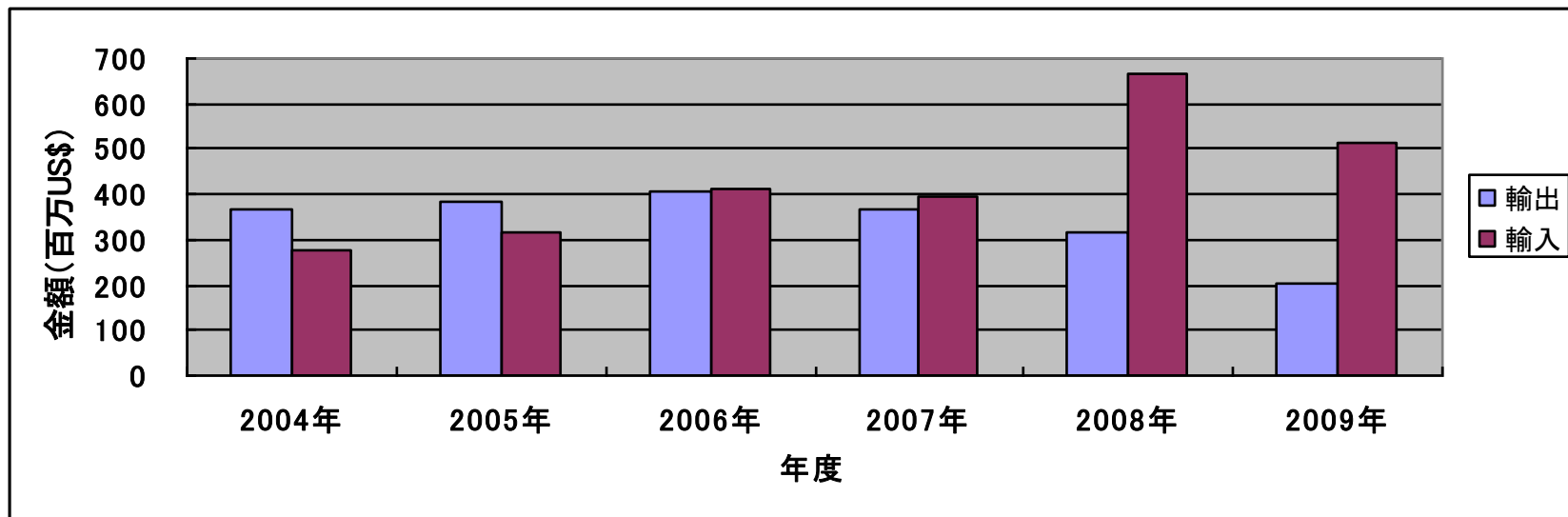
3. 織物

3-1. 薄地織物

3) 輸出入実績(金額)

2009年:数量と同じように推移

2010年:数量と同様に、輸出漸減・輸入増



	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
輸出	369.5	383.8	404.5	365.0	317.4	203.6
輸入	278.7	315.5	411.5	393.4	665.3	513.6

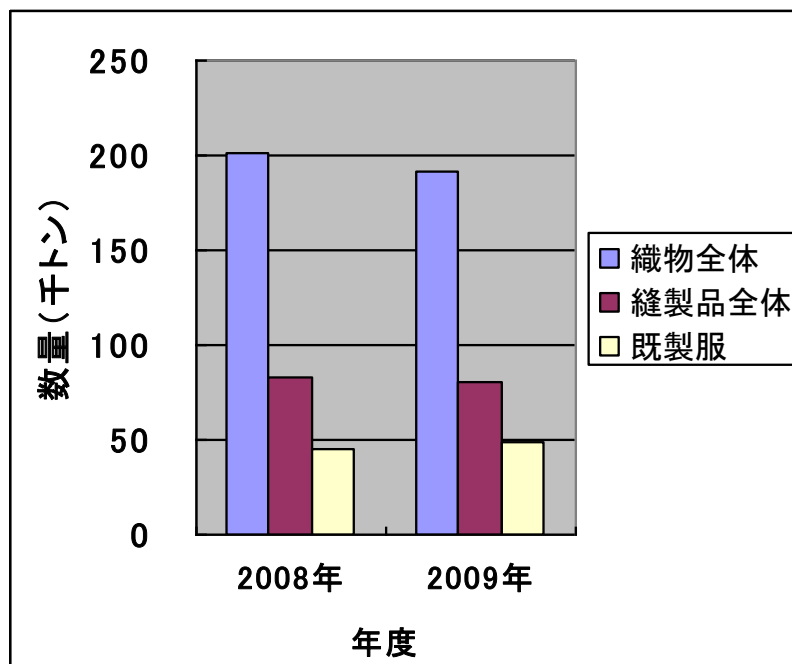
単位:百万US\$

3. 織物

3-2. 紳士・婦人服地

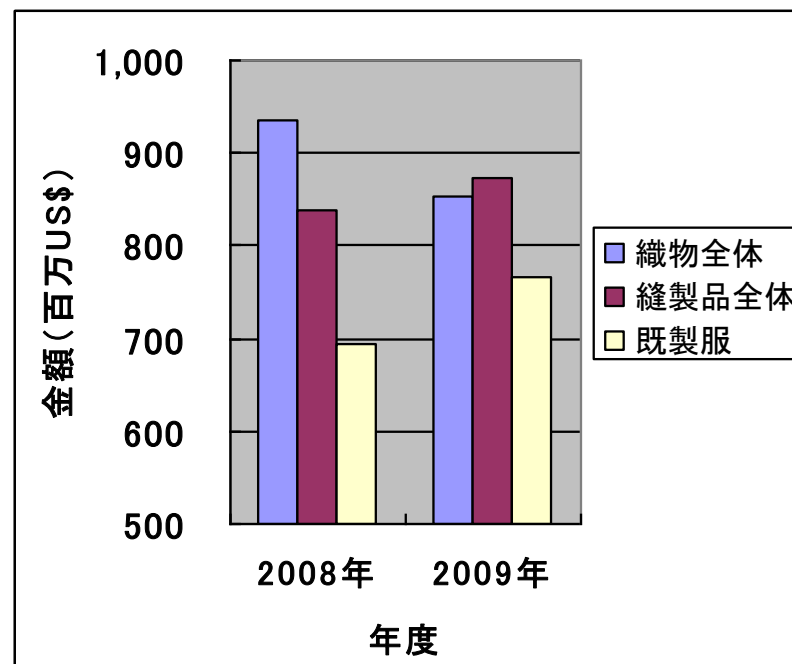
1) 織物、縫製品の輸入実績

数量(千トン)



	2008年	2009年	増減%
織物全体	200.7	191.8	-4.4%
縫製品全体	83.3	80.4	-3.6%
既製服	45.1	49.0	8.6%

金額(百万US\$)



	2008年	2009年	増減%
織物全体	934.1	852.1	-8.8%
縫製品全体	838.7	874.0	4.2%
既製服	694.0	767.1	10.5%

3. 織物

3-2. 紳士・婦人服地

2) 2009年の回顧

- ①上期に売上を落とし、下期で取り戻す。
金融危機の影響による市場の冷え込み、寒さの遅れでの冬物商戦の惨敗、
下期の消費は順調、クリスマス商戦の活況。
- ②紳士物は悪く、婦人服は比較的好調。
- ③生地 of 輸入量は上半期20%以上ダウンしたが、下半期増加し、年間では
4%ダウン。

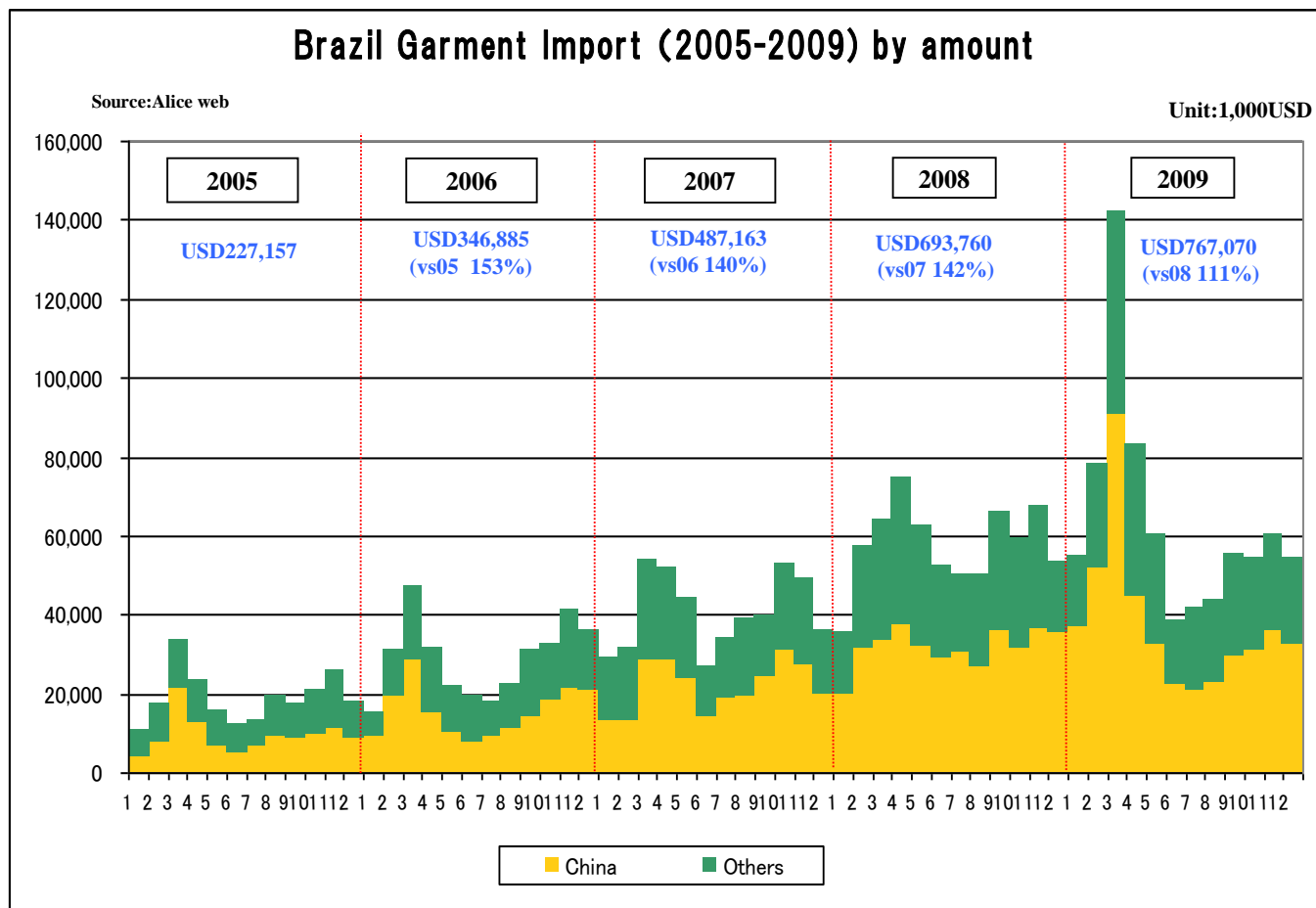
3) 2010年の展望

- ①ブラジルは金融危機を克服し、市場も落ちつきを取り戻した。
- ②今年 is ワールドカップの開催年であり、大統領選挙があることから、消費は
10%アップと見込む。繊維業界もその成長に乗って行く様に期待。

4. ファスナー

1) ブラジルの衣料輸入実績

上期は3月に大きく上昇し、32ポイントの上昇、下期は前年を下回り、
通年では11ポイントの増加。



4. ファスナー

2) 2009年の回顧

- ①ブーツ・履物分野は堅調であった。
- ②主力のジーンズ分野は前半は顧客の生産調整の影響を大きく受けた。後半、少し回復傾向が見られたが、期待していた程の数値まで上がらなかった。

3) 2010年の展望

- ①衣料縫製は 在庫調整の効果、2009年末の小売りの好調、経済の回復を背景に、回復に向かうと思われる。
- ②市場在庫レベルが低下したブーツ分野での販売は、引き続き好調に推移の見込み。

以上